

# 奥能登国際芸術祭2020

企画公募現地見学会資料

～候補地編～

奥能登国際芸術祭実行委員会



■ 9月14日（土）

- 11：00 集合：道の駅すずなり  
 11：15 ガイダンス
- 11：35 ★旧飯田駅（河口龍夫/小さい忘れもの美術館）  
 |  
 11：45 わくわく広場～飯田商店街散策  
 |  
 ★飯田の古民家（スズプロ/静かな海流をめぐって）  
 |  
 12：30 ★さいはてのキャバレー（昼食）  
 |  
 13：30 大谷：民家  
 |  
 14：00 ★旧清水保育所（塩田千春/時を運ぶ船）  
 |  
 14：30 旧西部小学校  
 |  
 15：00 ★旧日置公民館（さわひらき/魚話）  
 |  
 15：30 寺家：船小屋群  
 |  
 16：00 ☆森腰：民家（岩崎貴宏/小海の半島の旧家の大海）  
 |  
 16：30 ☆旧小泊保育所（Ongoing Collective/奥能登口伝資料館）  
 |  
 17：00 ★旧蛸島駅（トビアス・レーベルガー/Something Else is Possible）  
 |  
 17：30 解散：道の駅すずなり

★2017アート作品展開箇所（既存作品）  
 ☆2017展示された箇所

※都合により見学場所・時間は変更となる場合があります。

## 奥能登国際芸術祭について

能登半島先端の奥能登珠洲は、日本列島各地や大陸から文物がもたらされ、豊かな里山・里海を形成してきました。20世紀以降、都市化の波に取り残された珠洲は「さいはて」の地となっていきましたが、それゆえに「忘れられた日本」とも言うべき風景が随所に残っています。資本主義が倫理性を失い、あらゆる場所が均質化の波にさらされるなか、このような「さいはて」こそが、多様な個を包み込む拠りどころになるのではないかと考えます。

古くから「美術」は、自然や文明と人間のやむにやまれぬ、あるいは親しい関係を表してくれる手立てでした。社会システムに適応するための建前と個々人の本音のズレが拡大し、世の中の価値観が混乱している状態のなかで、今ひとたび美術は、それらの位相をつなぐやわらかさをもって働くのではないかと考えます。

奥能登珠洲のポテンシャルと響きあうサイトスペシフィックな作品を求めます。さいはての地で、美術の最先端に挑戦しましょう。

北川フラム 奥能登国際芸術祭総合ディレクター

## 奥能登国際芸術祭2020開催概要

テーマ	最涯の芸術祭、美術の最先端。
会期	2020年9月5日（土）－ 10月25日（日）51日間
会場	石川県珠洲市全域（247.20km <sup>2</sup> ）
参加作家	40組（予定）
主催	奥能登国際芸術祭実行委員会
実行委員長	泉谷 満寿裕（珠洲市長）
総合ディレクター	北川 フラム
公式WEBサイト	<a href="https://oku-noto.jp/">https://oku-noto.jp/</a>



## 地区ごとの特徴

市内10地区にそれぞれ公民館が所在する。地区ごとの活動は主にこの公民館を単位として行われる。



01 大谷地区  
(おおたに)



02 日置地区  
(ひき)



03 三崎地区  
(みさき)

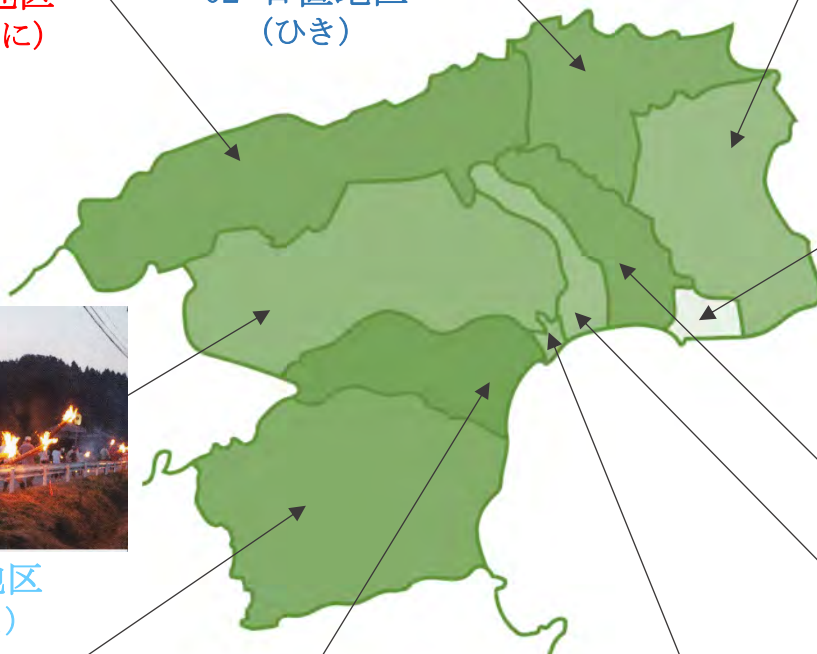
04 蛸島地区  
(たこじま)



05 正院地区  
(しょういん)



10 若山地区  
(わかやま)



09 宝立地区  
(ほうりゅう)



08 上戸地区  
(うえど)



07 飯田地区  
(いいだ)



06 直地区  
(ただ)

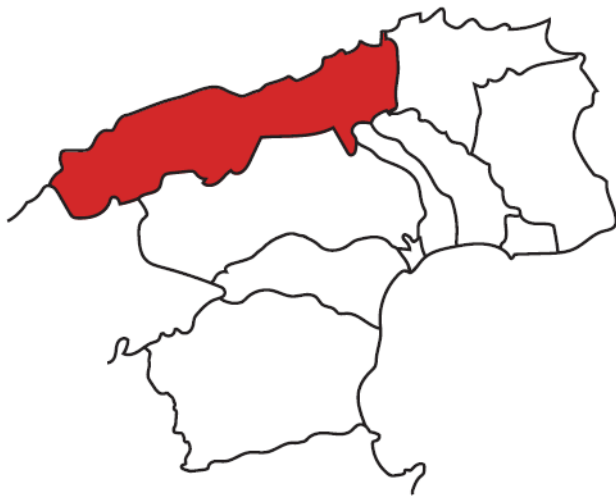
### 珠洲市全体

総面積：247.20km<sup>2</sup> 総世帯数：6,161世帯

人口：総人口 14,248人 (男性：6,572人 女性：7,676人) ※日本人+外国人

年齢別人口：0～14歳 1,000人(7.0%) / 15～64歳 6,288人(44.1%) / 65歳～ 6,960人(48.9%)

人口：令和元年5月31日 住民基本台帳  
面積：平成30年10月1日 珠洲市総務課



## 01 大谷地区（おおたに）

世帯数：487世帯

人口：1,055人

面積：50.50km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

珠洲大谷川（2.3km）

猫ヶ岳（413m）、水山（405m）

鞍坪岳（366m）

学校：大谷小中学校（小学校児童数18名、  
中学校生徒数12名）

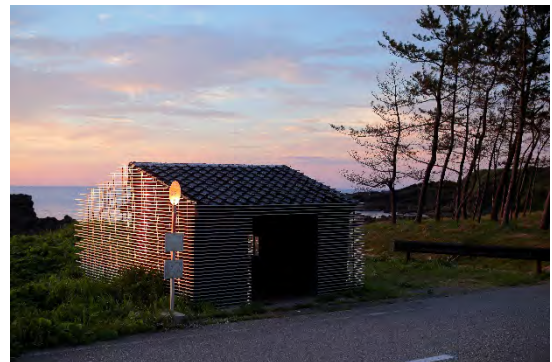
### 01 大谷地区

～岩礁に打ち寄せる荒波 塩田がつづく海岸線～

地区全体が外浦地区に位置しているため、海からの風を強くうけ急峻な地形となっている。また、波も荒いため、海岸線には岩場が多い。こうした自然条件は、家屋敷の形状にも影響し、間垣などが見られる。日本で唯一継承されるといわれる「揚げ浜式製塩法」が今も受け継がれている。平時忠一族の墓群とされる史跡があり、平家に由来する地名も多い。笹波集落は、かつての「能登名跡志」に絶景也と記され、仁江・真浦の海岸から海に沈む夕日を撮った写真ポスターが、世界観光ポスターコンクール展で優秀作品に選ばれたこともある。能登半島有数の釣り場で多くの釣り人が訪れる。



△塩田千春「時を運ぶ船」（旧清水保育所）



△アレクサンデル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次  
（笹波口バス停）



△冬の気象条件で発生する「波の花」



△県指定天然記念物「大谷ののとキリシマツツジ」

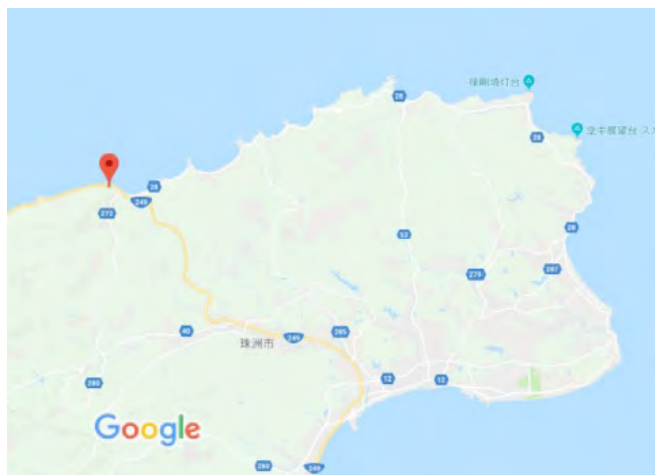
## 01 大谷地区

## 旧西部小学校（体育館）



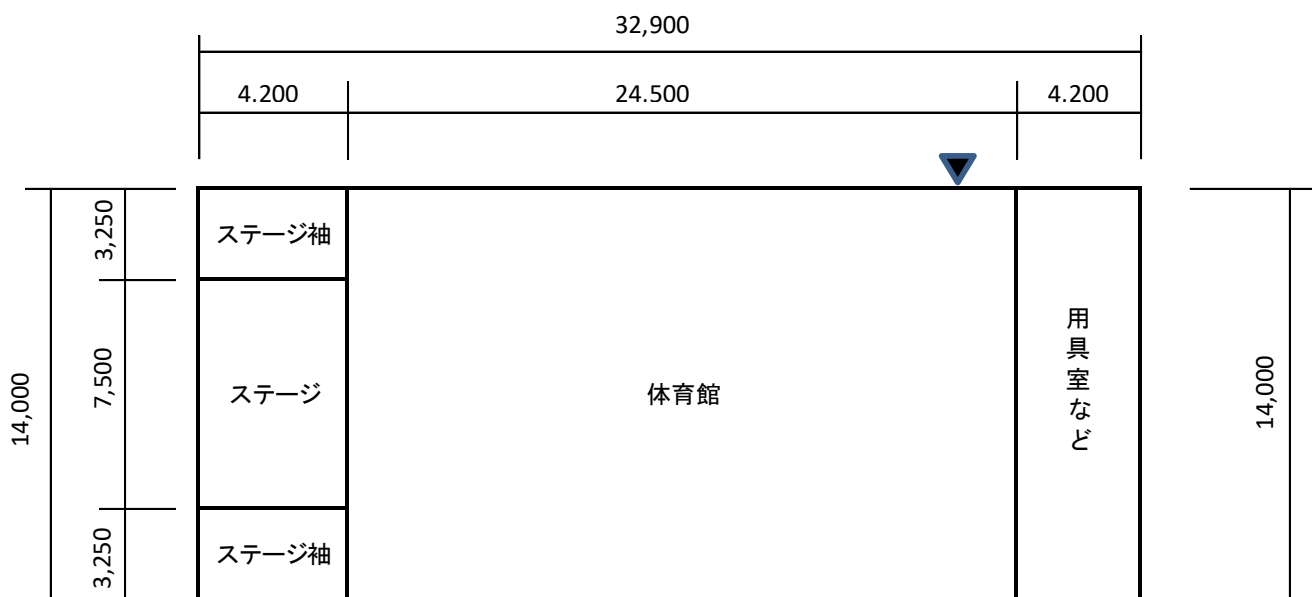
要件	インスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。 体育館及びグラウンドが利用可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市大谷町2-47-甲
施設概要	1971年に建設され、2016年に大谷中学校と統合したため閉校。 校舎側は2017年に取壊され、現在は体育館、グラウンドのみ
付帯設備	駐車場（30台程度） ※校舎跡地も利用可能
所有者	珠洲市

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
△	△	×	○

■見取り図・写真



体育館の中



ステージ



用具室の様子



グラウンド





## 02 日置地区（ひき）

世帯数：218世帯

人口：491人

面積：20.47km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

折戸川（1.6km）、山伏山（172m）

学校：—

### 02 日置地区

～能登半島先端に立つ灯台 変化に富んだ岬めぐり～

日置の地名は、源平盛衰記に登場する日置氏に関連があるとも言われるが、製塩や焼物など、火との縁が深かった場所と思われる。古墳後期から奈良平安期にかけての製塩遺跡の分布が顕著であり、「王政の昔、海上警備のために、烽火を設けた」という狼煙の地名の由来にもつながる。狼煙町の背後にそびえる山伏山は、信仰の山として尊ばれ、沖を通る船の目印としても大切な役割を担ってきた。

半島の最北端に位置する禄剛崎は、水平線に日の出・日の入りが見られる景勝地として知られ、同地に、明治初期に建設された禄剛崎灯台は、日本の灯台50選にも選ばれ、歴史的・文化的価値が高い。

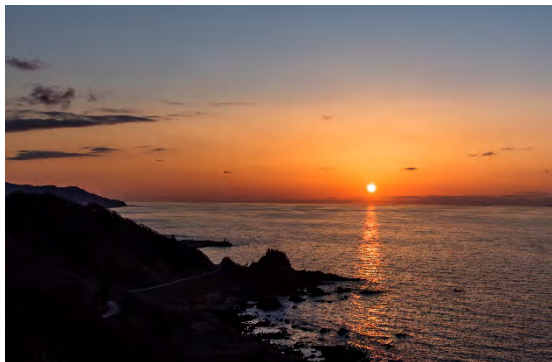
木ノ浦海岸は、透明度が高く、崖や洞穴、岩礁が集まり随所で変化に富んだ眺望が楽しめる。珠洲市内で最も高齢化が進み、世帯数も少ないが市外からの移住者も増えつつある。



△さわひらき「魚話」（旧日置公民館）



△アレクサントル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次  
（能登洲崎バス停）



△椿展望台から望む夕陽



△禄剛崎灯台

## 02 日置地区

## 滞在交流施設 日置ハウス



要件	「日置ハウス」は簡易宿所として、サポーター等の宿舎として利用可能であり、滞在制作も可能。 併設する、旧校舎、体育館は使用不可であるが、中庭とグラウンドは、イベントなど使用可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市折戸町ヌ-8
施設概要	1981年に日置小学校（旧校舎側）として建設。1993年に中学校部分（日置ハウス側）が併設して建設されたが、2005年に閉校となった。 2017年滞在交流施設「日置ハウス」としてリニューアルオープン。
付帯設備	駐車場（15台程度）、中庭、グラウンド
所有者	珠洲市

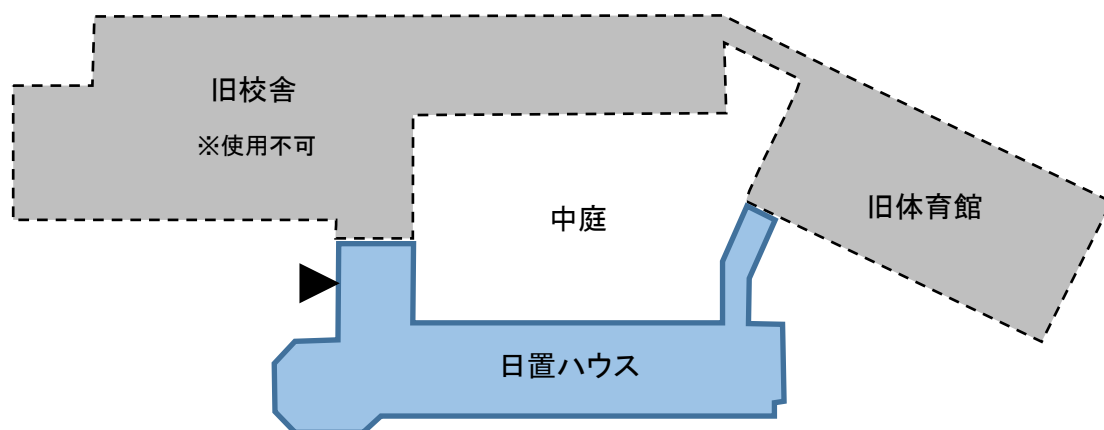
## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真

平面図



中庭



校舎下のグラウンド

日置ハウス 施設の様子



食堂



部屋



### 03 三崎地区（みさき）

世帯数：891世帯

人口：2,164人

面積：31.07km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

紀の川（6.4km）、栗津川（1.7km）

山伏山（172m）

学校：みさき小学校（児童数70名）

三崎中学校（生徒数25名）

### 03 三崎地区

～海の守護神・須須神社 里山里海が融合する場所～

地区名は、寺家の金剛崎・遭崎、高波の宿崎を合わせた三崎に由来すると言われる。

地区内に、式内社と伝えられる須須神社があり、鎌倉期の木造男神像5軀（国重文）、源義経が寄進したという「蟬折の笛」を所蔵する。寺家の地名は、同社の僧房群が所在したことにより、神島・姫島などの岩礁も同社にちなむ。奥社のある山伏山は、古代以来海上交通の安全を祈る山であり、社叢は国天然記念物となっている。

大正期、農業の副業として蚕糸、蕪製品などが行われる。工業としては瓦、珪藻土などがつくられていた。

ため池でのジュンサイ栽培や松林を使ったシイタケ栽培、沿岸漁業など、市内で最も里山里海に触れられる地区であり、金沢大学の能登学舎が設置されている。



△海に向かって立つ須須神社の鳥居



△長手崎灯台



△須須神社拝殿



△雁の池/冬になると野鳥が飛来する

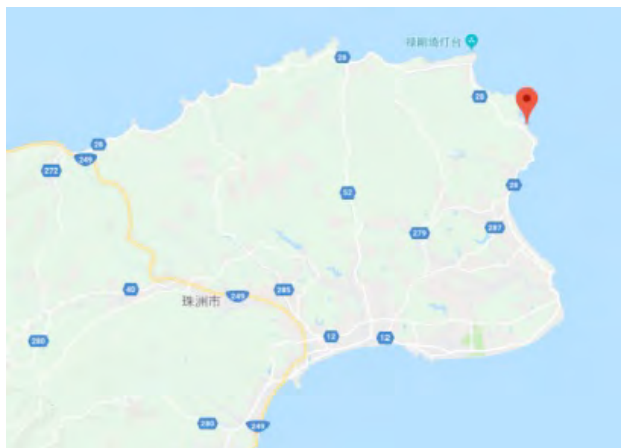
## 03 三崎地区

## 寺家の船小屋群



要件	屋外でのインスタレーションやパフォーマンスが可能。 ※国立公園内のため規制あり
展示期間	会期中のみ
住所	珠洲市三崎町寺家
施設概要	仮設で立てられている船小屋群。 基本的に、建物は個人の所有物。
付帯設備	駐車可能スペースあり（5台程度）
所有者	船小屋：個人 海岸：国（管理：県）

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	×	×	×

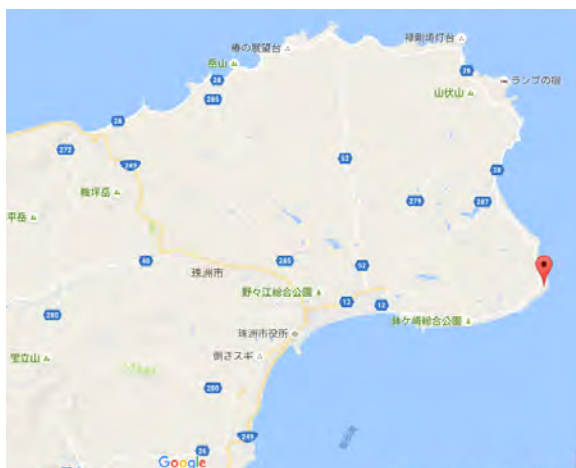
## 03 三崎地区

## 旧小泊保育所



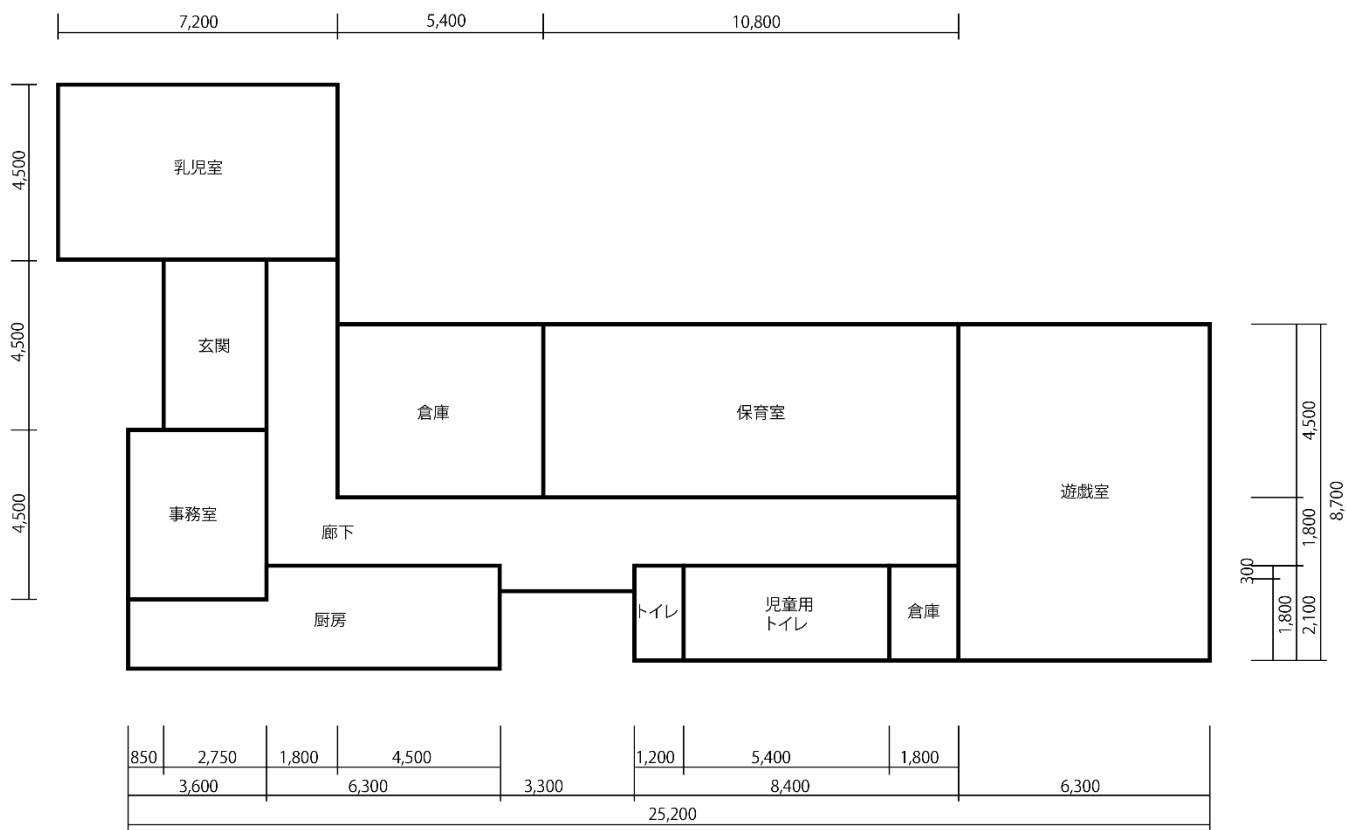
要件	施設内全体を活用したインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市三崎町小泊17-33-1
施設概要	2016年度末まで保育所として利用されるが、その後閉所。
付帯設備	駐車場あり（10台程度）※隣接する金沢大学能登学舎を含まない。
所有者	珠洲市

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真



遊戯室の舞台



保育室



## 04 蛸島地区（たこじま）

世帯数：551世帯

人口：1,298人

面積：3.10km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：  
—

学 校：蛸島小学校（児童数25名）

### 04 蛸島地区

～活気あふれる蛸島港 漁師町の風情ある街並み～

蛸島の海岸には、船舶の目標となる高さ20mの山王の森（高倉彦神社の社叢）と呼ばれる小高い丘がある。また、沖合い400mに周囲200m余の弁天島があり風波を防ぐ。蛸島の地名の由来は、山王の森の沖に大蛸がいて、船中や近郷の人々を食していたが、土地の山神に退治され、島に化したためとも、島に蛸が多くいたことによるともいわれる。

砂浜の割に海が深いこともあって古くから漁港として栄えるとともに（イワシ、タイ、ブリが漁獲高の7割を占めていた）、江戸時代は海上交通の要港でもあり、珪藻土製品および珠洲瓦の移出港でもあった。漁師町の風情を残す白壁と下見板の街並みは、1996年にいしかわ景観大賞を受賞している。

鉢ヶ崎エリアは、「日本の渚百選」にも選ばれた鉢ヶ崎海岸をはじめ、健康増進をテーマにスポーツ・リゾートエリアとして整備を進めている。またボーイスカウトの全国大会のメイン会場や、国内有数規模のトライアスロン大会も当地区を中心に開催している。



△トビ・アス・レベ・ルター「Something Else is Possible/なにか他にできる」



△リュウ・ジャンファ「漂移する風景」（珠洲焼資料館）



△蛸島港（県内に2つしかない「第三種漁港（全国規模の港）」のひとつ）



△豪華絢爛なキリコが町内を練り歩く様子は圧巻



△蛸島町の祭りで演じられる「早舟狂言」



## 04 蛸島地区

## 「わくわく夢らんど」の巨大遊具



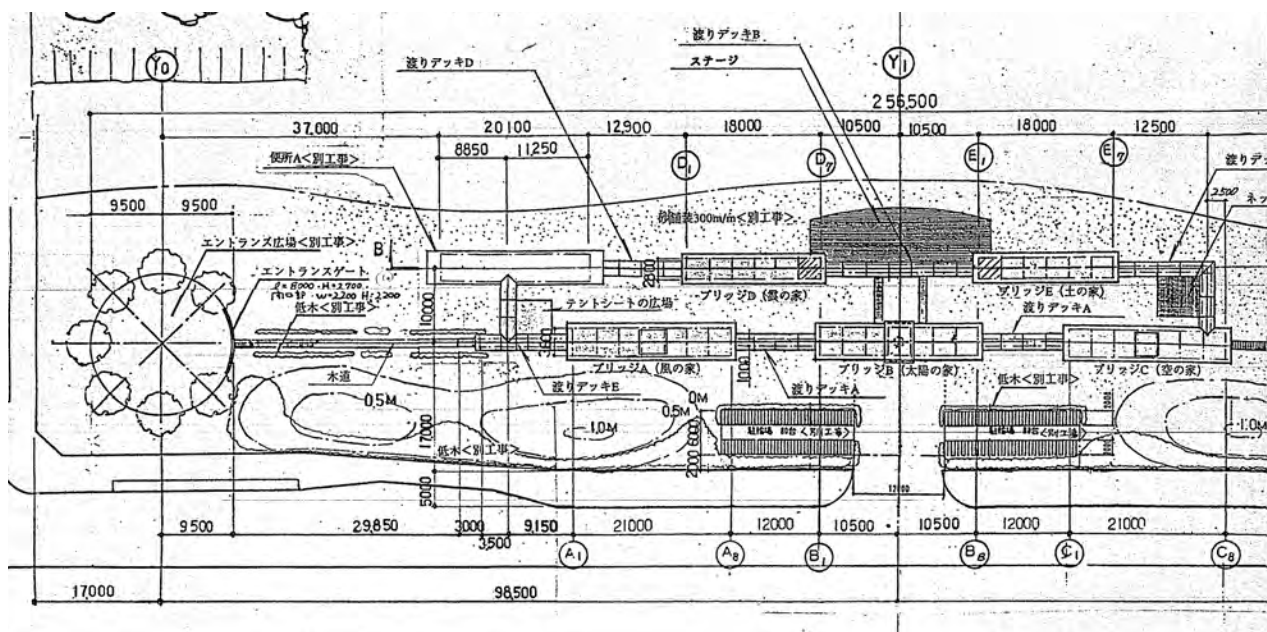
要件	設計者の意図を汲んだイベントや新しい遊具・機能の追加。
展示期間	会期中 ※遊具や設備などの追加の場合は会期外も応相談。
住所	珠洲市蛸島町鉢ヶ崎メ部28番地
施設概要	環境デザイン研究所が設計。 1995年建設。
付帯設備	ステージ、駐車場
所有者	珠洲市（指定管理者：（一財）鉢ヶ崎リゾート振興協会）

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真





## 05 正院地区 (しょういん)

世帯数：625世帯

人口：1,426人

面積：11.89km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

金川 (4.4km) 直地区との境界

飯川 (2.0km)、岡田川 (3.2km)

学校：正院小学校 (児童数43名)

### 05 正院地区

～古代珠洲の中心地 碁盤状の街並み～

古代郡家の正倉、北陸道の駅路の最終駅の珠洲駅が置かれた (平安初期に行政機構の縮小策によって廃駅になった。)。須受八幡宮は、神事能の舞台があり、鎌倉時代から猿楽で賑わった。道幅の広い目抜き通りを使って、奴振り行列が開催される。

江戸末期に日用雑器を中心とした青九谷系の正院焼が興るが、現在では廃窯となっている。また、正院産の干イワシ、干アワビ、マグロ、油粕、灰、ねいごほうき、正院素麺などが出荷されていた。山側は珪藻土が多く埋蔵しており、現在、珪藻土の事業者、珠洲焼の陶工が、多く点在する。冬にコハクチョウが飛来する圍場もある。



△大名行列の名残を感じる「奴振り」



△ひびのこづえ「スズズカ」  
(旧飯塚保育所)



△冬の八丁平野に飛来する  
コハクチョウ



△アレクサンドル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次  
(正院バス停)



△アレクサンドル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次  
(珠洲川尻バス停)

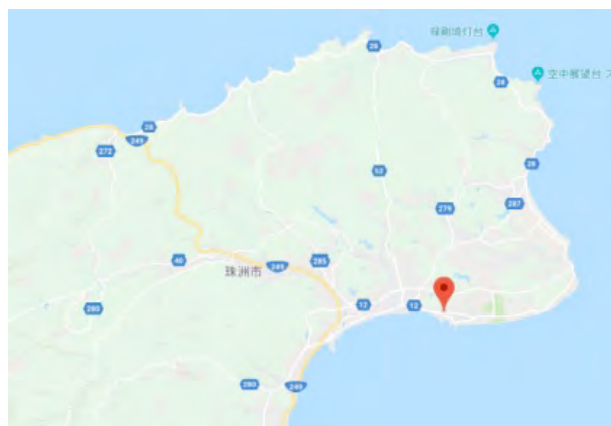
## 05 正院地区

## 漁具倉庫



要件	インスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中
住所	珠洲市正院町川尻
施設概要	1980年代に建設された。 かつては漁業用の網を補修するために使用されていた倉庫。
付帯設備	駐車場（5台程度）
所有者	個人

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	×	×	×

## 05 正院地区

## 旧正院駅



要件	インスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。 駅舎をはじめ、プラットホーム、線路跡地などを使用可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市正院町正院
施設概要	1964年に建設され、のと鉄道能登線廃止に伴い2005年に廃駅となった。
付帯設備	駐車場（10台程度）
所有者	珠洲市

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
△	×	×	×



## 06 直地区 (ただ)

世帯数：450世帯

人口：1,163人

面積：8.08km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

金川（4.4km）正院地区との境界

学校：直小学校（児童数57名）

※日置地区の児童も通学している

緑丘中学校（生徒数167名）

※上戸、飯田、若山、直、正院、蛸島、日置地区の生徒が通学

石川県立飯田高等学校（生徒数353名）

## 06 直地区

～交通の結節点 生まれ変わる珠洲駅～

直村は、野々江、岩坂、熊谷の3か村が合併して成立。明治初期から竹製品の製作が盛んになり、蚕籠、魚入籠、移出魚籠、繭籠などを鳳至郡・富山県に移出していた。現在、量は少なくなったが、技術の継承者たちが制作に携わっている。

近年、学校、病院、図書館など社会資本が整備されており、周辺には、大型店舗や住宅などが建ち並んできている。また、廃線となった旧の鉄道珠洲駅を活用し、道の駅「すずなり」を整備。現在は、定期観光バスが立ち寄るなど、多くの観光客が訪れている。珠洲市の交通結節点として、また観光情報の発信拠点として機能している。

生物多様性に着目し、環境配慮型の農業に取り組む若い農業者もいる。



△道の駅「すずなり」に集まるキリコ



△2019年3月にオープンした市民図書館



△道の駅「すずなり」



△亀ヶ谷池

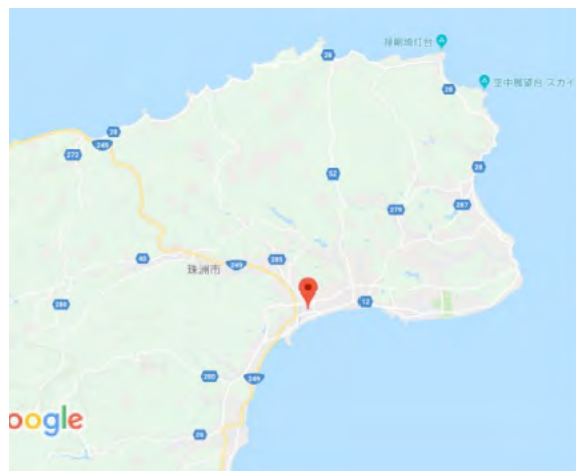
## 06 直地区

## 道の駅すずなり（旧珠洲駅プラットフォーム）



要件	インスタレーションやパフォーマンス、イベントなど幅広いジャンルの企画が可能。広場をはじめ、プラットフォーム、線路を利用可能。
展示期間	会期中
住所	珠洲市野々江町シ部
施設概要	のと鉄道能登線廃止に伴い2010年に旧珠洲駅を整備。道の駅すずなりとして観光・交通の結節点でもある。
付帯設備	駐車場（約50台） ※道の駅すずなり内の「すずなり館」には観光客案内所と物産コーナーが設置されている。
所有者	珠洲市（指定管理者：NPO法人能登すずなり）

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真



プラットフォーム



当時の看板



一部線路が敷設している状態





## 07 飯田地区 (いいだ)

世帯数：633世帯

人口：1,420人

面積：1.24km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

若山川 (17.4km) 下流域

学校：飯田小学校 (児童数77名)

## 07 飯田地区

～港、朝市、祭りで活気づく 昔も今も珠洲の中心地～

珠洲市の政治・経済・文化の中心的な場所。以前から商業地域の傾向が強く、数百年の伝統をもつとされる二七の朝市が今も行われている (毎月2・7の日に開催)。

春日神社は、かつて若山社と称し、若山荘の鎮守とされ、近隣の春日田は神供田と伝える。

毎年7月20日、21日に開催される春日神社の納涼祭 (飯田灯籠山祭り) には、高さ7～8mの灯籠山車が出るが、明治初期に富山県氷見市のものを模して作ったのが、現在につながっているとされる。

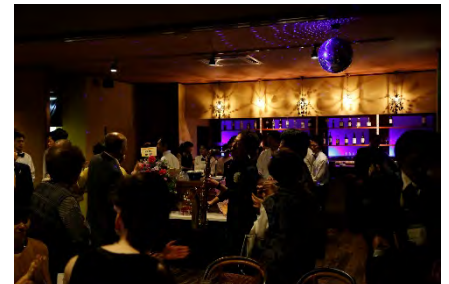
飯田港は古くから沿岸航路の泊地であり、米・塩・木材など、生活用品の移出港。また、能登鉾山の石膏積出港でもあった。1962年 (昭和37年) 頃から七尾～奥能登間の定期船運行に伴い、珠洲地方の発着港になった。1975年 (昭和50年) から1979年 (昭和54年) にかけて、佐渡を結ぶフェリーボート、ホバークラフトが就航した。



△金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム [スズプロ]「静かな海流をめぐって」 (飯田の古民家)



△河口龍夫「小さい忘れもの美術館」 (旧飯田駅)



△さいはてのキャバレー (かつての船着場が芸術祭をきっかけに生まれ変わった)



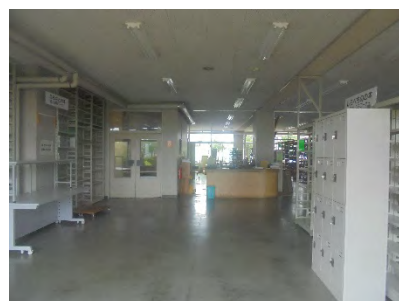
△二七の朝市



△飯田灯籠山祭り/山車が建ち並ぶ様子は壮観

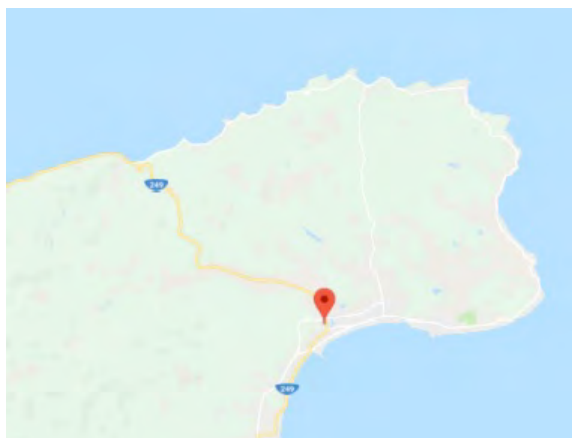
## 07 飯田地区

## 珠洲市生涯学習センター（旧図書館）



要件	<p>インスタレーションやパフォーマンス、イベントなど幅広いジャンルの企画が可能。</p> <p>1階（旧図書館、事務所など）のみ使用可能。</p> <p>2階は、団体等への貸館として使用しているため使用不可。</p>
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市飯田町9-83-2
施設概要	1974年に珠洲市立中央図書館、中央公民館、飯田公民館として建設。2019年3月に市民図書館を建設し移転した事により閉鎖。
付帯設備	<p>駐車場（50台程度）</p> <p>図書館として使用していた当時の本棚や書籍が一部残る。</p>
所有者	珠洲市

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

## 07 飯田地区

## 旧消防庁舎、訓練塔

(現奥能登国際芸術祭実行委員会事務局)



要件	旧消防庁舎の外壁、訓練塔全体を利用したインスタレーションが可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市飯田町13-120-1
施設概要	2016年3月まで消防庁舎として利用。 同年5月からは芸術祭の事務局として利用。
付帯設備	駐車場あり (7台 + $\alpha$ )
所有者	珠洲市

### ■施設所在地



電気

水道

トイレ

図面

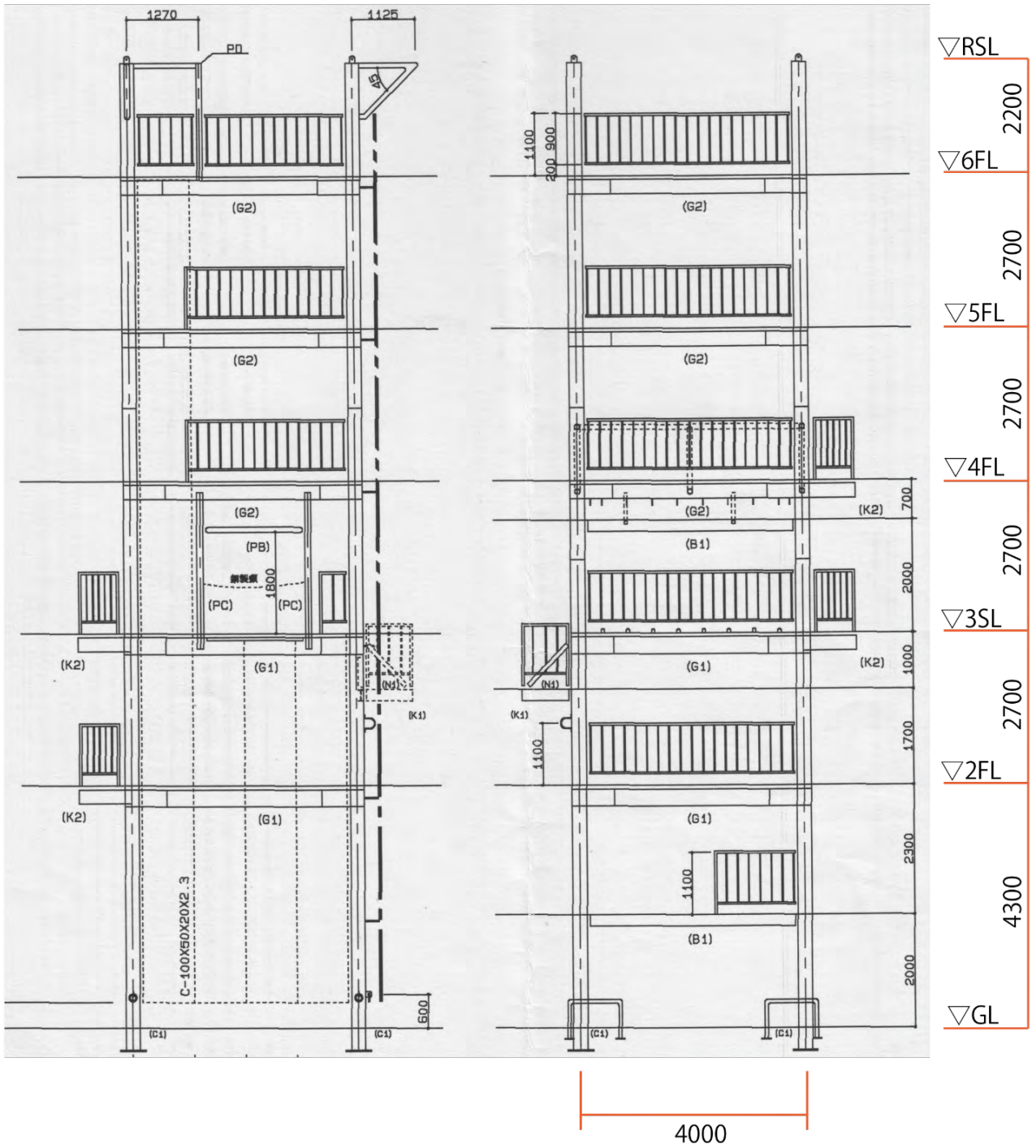
○

○

○

○

■ 立面図





## 08 上戸地区 (うえど)

世帯数：592世帯

人口：1,391人

面積：17.54km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

竹中川 (2.6km)

学校：上戸小学校 (児童数27名)

## 08 上戸地区

～かつて塩田が並んだ砂浜 受継がれる倒さスギと蟹の伝説～

田埂の分布状況（珠洲は横穴が多い）から、珠洲全体ではもっとも早く開けたところと考えられる。農業中心の村であったが、江戸から明治期には製塩業も盛んであった。その後不振になり養蚕を導入。明治維新の際に困窮した塩土を救ったとされる藻寄行蔵氏の生家がある。

明治22年に名古屋から職工を招いて上戸縞が生産され、一時は隆盛したが大正初期には衰退。冬期には酒造の出稼ぎ（能登杜氏）が盛んで、明治30年には約300名いたとされる。

県指定天然記念物「倒（さかさ）スギ」は、樹齢900年。杉の枝が地面を這うようにして逆さに垂れていることから呼ばれるようになった。八百比丘尼（やおびくに）が昼食時に杉箸を逆さに挿し、そこから枝葉が出たとの逸話も伝わっている。

法城山 永禅寺は、古くから蟹の妖怪を退治した話が伝わっており、「蟹（ガン）寺」と呼ばれるようになった。



△ラックスメディア・コレクティブ「うつしみ」  
(旧上戸駅)



△上戸曳山祭り/かつては塩田を踏み固めていた



△県指定天然記念物「倒スギ」



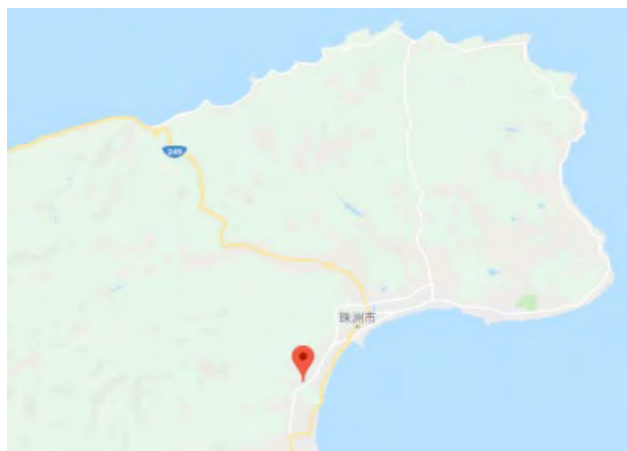
△永禅寺（蟹（ガン）寺）の境内に飾られるカニの彫刻

## 南方農村児童公園



要件	公園内でのインスタレーションや、パフォーマンス等の幅広いジャンルの企画が可能。※隣接する集会場については要相談
展示期間	会期中
住所	珠洲市上戸町南方
施設概要	地域の交流の場として1995年に整備。隣接して、地域の集会場もある。
付帯設備	駐車場あり（5台程度）
所有者	珠洲市（管理：上戸町随念地区）

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	×

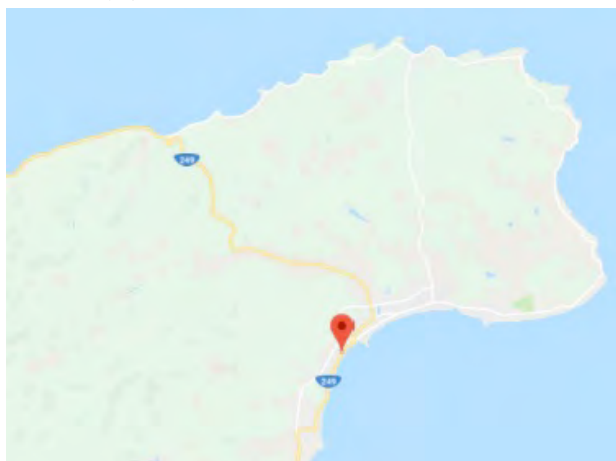
## 08 上戸地区

## 上戸の船小屋



要件	インスタレーション等の幅広いジャンルの企画が可能。 施設全体の使用可能。
展示期間	会期中
住所	珠洲市上戸町寺社
施設概要	かつては船小屋として使用。建築年は不明
付帯設備	駐車場あり（5台）
所有者	個人

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	×	×	×



## 09 宝立地区 (ほうりゅう)

世帯数：994世帯

人口：2,208人

面積：54.56km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

鵜飼川 (10.7km)、舟橋川 (4.2km)

般若川 (2.7km)、宝立山 (471m)

学校：宝立小中学校 (小学校児童数51名、  
中学校生徒数25名)

## 09 宝立地区

～沖合に浮かぶ見附島 弘法大師伝承の数々～

地名は宝立山に由来。法立とも書く。奥能登北東部では最高峰。宝立山は「一国はいふに及ばず、近国をみおろし、所々より回船の目当となる山にて、勝景類なく実に宝嶺なりといへり」という記述がある（能登志微（のとしちょう））。

法住寺は、平安から鎌倉にかけての公卿の日野資実が祈願寺とした。

鵜飼川にはアユ・マス・イワナなどが生息し、市内屈指の釣り場とされ、かつては、和船が河口から200m余遡上できたと伝えられる。

能登地区随一の酒蔵“宗玄酒造”の本拠地でもあり、創業250年の歴史がある。

毎年8月第1土曜日に開催される「宝立七夕まつり」は、キリコが海中に乱舞する勇壮な祭りとして知られる。

県指定天然記念物「見附島」は、高さ28メートルの大きな岩がそびえ立つ。弘法大師が布教のために、佐渡から能登へと渡る際に発見したといわれており、「見つけた」というのが名前の由来。先端部分が突き出したその独特の見た目から別名「軍艦島」とも呼ばれている。



△宝立七夕キリコ祭り/花火を合図に海へ入るキリコ



△県指定天然記念物「見附島」



△谷崎の桜



△曾ノ坊の滝



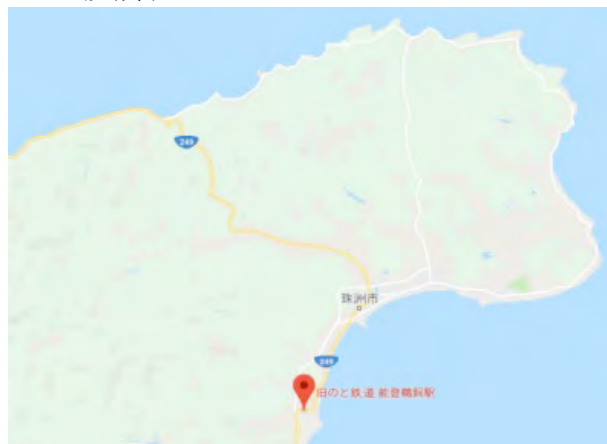
## 09 宝立地区

## 旧鶺鴒駅



要件	インスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。 駅舎の一部、プラットフォーム、線路跡地を使用可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市宝立町鶺鴒
施設概要	1991年に現在の駅舎が建設されたが、のと鉄道能登線廃止に伴い2005年に廃駅となった。 ※駅舎の一部を喫茶店として利用している。
付帯設備	駐車場（20台程度）
所有者	珠洲市

## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	×

## 09 宝立地区

## 旧鵜島保育所



要件	施設内全体を活用したインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中、会期外問わず
住所	珠洲市宝立町宗玄23-9
施設概要	1979年に建設され、2006年に閉所された。 所庭は近隣住民が畑として利用している。
付帯設備	駐車場（6台程度）
所有者	珠洲市

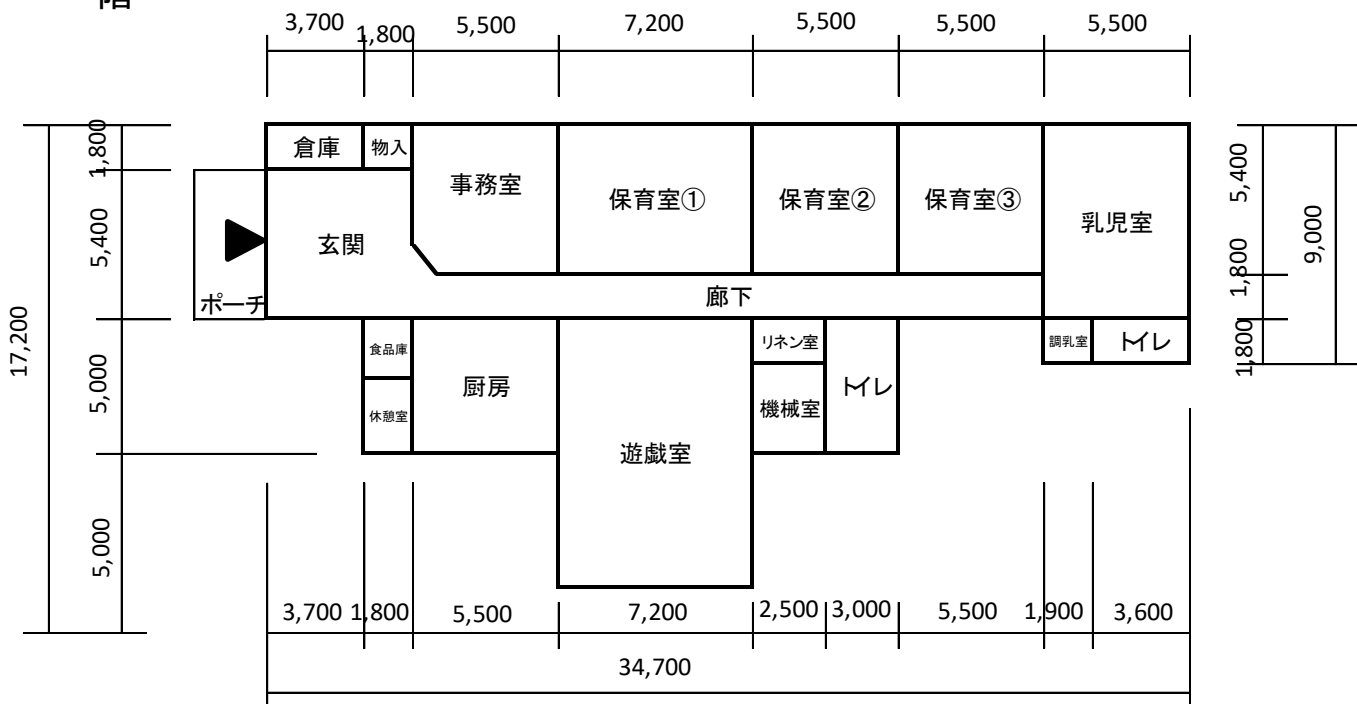
## ■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真

一階





## 10 若山地区 (わかやま)

世帯数：725世帯

人口：1,668人

面積：48.75km<sup>2</sup>

主な河川・山岳：

若山川 (17.4km)、宝立山 (471m)

学校：若山小学校 (児童数38名)

### 10 若山地区

～能登国最大の荘園「若山荘」 里山で守られる伝統行事～

市内では唯一、海に接していない山に囲まれた地区となっている。市街地と外浦地区を結ぶ交通の要所でもあり、山間には水田が広がり米の生産が盛んで、あえのこと、虫送りなどの民俗行事が传承されている。

地名の由来は古代の若倭郷という郷名の転化といわれている。平安期に成立した荘園「若山荘」は珠洲郡の6分の5強の面積を有したといわれ、能登国最大の荘園として発展した。

1920年(大正9年)から中田地区で石膏採掘(能登鉱山)が開始され、1969年(昭和44年)の閉山まで、200万トンを出鉱していた。

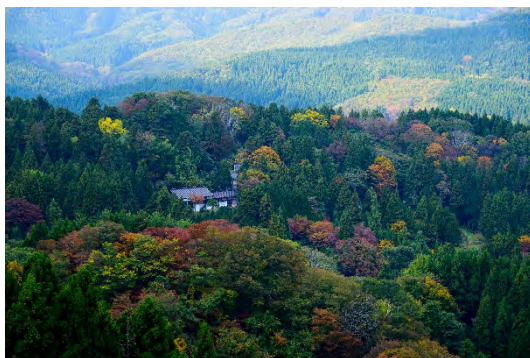
上黒丸にある「黒丸家」は、格式をもった間取りと屋敷構えをもち、江戸初期の建築といわれ、国指定重要文化財となっている。



△国指定重要無形民俗文化財「あえのこと」



△虫送りの様子



△山深い集落の様子



△棚田の様子

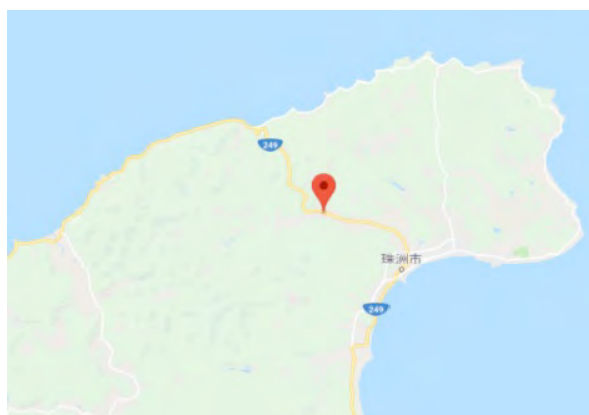
10 若山地区

大坊生活改善センター（旧大坊小学校跡地）



要件	インスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中
住所	珠洲市若山町宇都山
施設概要	1981年3月に若山小学校統合により閉校。その後1986年大坊生活改善センターや隣接して子牛セリ市場が整備される。
付帯設備	駐車場（20台程度）、旧グラウンド、旧子牛セリ市場建屋の一部
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	×

その他、作品展開可能な場所や施設



空き家



空き家



空き家



蔵



空き家



ため池



農地



公園



空地



海岸線(砂浜)



海岸線(内浦)



海岸線(外浦)

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.



#### 参考文献

珠洲市制五十周年記念「珠洲のれきし」  
奥能登国際芸術祭2017ガイドブック  
奥能登国際芸術祭2017記録集

#### 編集

奥能登国際芸術祭実行委員会  
〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13-120-1  
TEL 0768-82-7720 FAX 0768-82-7727  
E-mail info@oku-noto.jp  
公式Webサイト <https://oku-noto.jp/>